

部活応援隊が行く!!

川越高等学校 空手道部

「苦しいことを楽しむ努力」で全国の舞台へ

全国大会出場常連校として知られる川越高校空手道部。試合形式には「形」と「組手」の2種類があり、形式に分かれて練習に取り組んでいます。3年生が引退し、新チームが男女22人で始動。笑顔で声を掛け合いながら、楽しそうに技術を磨く姿が印象的です。



顧問 酒井 佑紀先生

Q6 部活動を通して伝えたいことは?
酒井先生「主体性」「人間力」「思いやり」を大切に将来的に社会で活躍できる人になれるよう、目指しています。「主体性」というところでは、男女のキャプテン、副キャプテン、メンタルリーダーが月1回ミーティングを開き、課題や解決策などを話し合っています。メンタルリーダーが月1回ミーティングを開き、スピーチを発表する時間を導入したり、スポーツ選手や会社経営者の特集した記事を読んで発表したりするなど、人間性を高めるべく、競技以外のことにもしっかり取り組んでいます。今後は社会貢献活動にも力を入れていきたいと考えています。

Q2 キャプテンとしての心構えは?
A2 (田中さん)みんなを盛り上げるために意識的に声を出しています。積極的にコミュニケーションを取るだけでなく、真剣に空手道に取り組む姿勢をみんなに示すことで、同じ目標に向かっていきたいです。

Q4 現在の目標は?
A4 (田中さん)今年のインターハイでは思うような技が出せず初戦敗退してしまっただけで、次のインターハイにも出場し、後悔のない試合をしたいです。
(酒井先生)今後控えている大会に向けて、練習に取り組んでいます。部として毎年目標に掲げているのが、インターハイと選抜大会です。

Q1 部活の魅力は?
A1 (田中さん)「厳しそう」「痛そう」などのイメージを持たれがちの空手道ですが、この部活ではみんな楽しく笑顔で活動しています。

Q3 チームの強みは?
A3 (田中さん)苦しさを楽しさに変えられる力を持っていることです。体力的に苦しいときが多いですが、生き生きとした表情で声をかけあったら、みんな笑顔で、「もう少し頑張ろう!」と楽しく乗り越えられます。
(酒井先生)「いい顔で練習しよう!」と声をかけており、ポジティブな姿勢で練習に取り組んでくれているところです。また積極的にコミュニケーションをとり、みんなで高め合おうとする気持ちで強いチームです。

二次元コードを読み取ると空手道部のコメントが見られます。

